

広報 ただみ

7
2020 月号
No. 596
令和2年1月10日



今月の表紙

お正月の恒例行事と言えば…やっぱり「書初め」ですよね。町内では、小学生の「書初め教室」が開かれ、児童たちが一生懸命、書初めに取り組みました。

参加した児童たちは、講師の先生からアドバイスをもらいながら、正しい姿勢でしっかりと自分の字を書くことができました。きっと清々しい気持ちで新年を迎えられたことと思います。

(関連記事：P13)

《特集》

新年のご挨拶…………… 2～3

民生児童委員の一斉改選…………… 4～5

「第48回只見ふるさとの雪まつり」
を開催します！… 6～7

《News&flash》…………… 8～9

《町の話》…………… 10～13



ご挨拶

未来につなぐ 町づくりを目指して

只見町長 菅家 三雄



明けましておめでとうございます。令和二年の初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、つとがなく輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃町政にお寄せいただいておりますご支援ご協力に対し心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、四月に「令和」という新元号が発表され、日本全国が新たな時代の始まりに湧いた年でありました。

本町におきましては、八月一日に町制施行六十周年の節目を迎え、「令和」という新たな時代の幕開けと共に、六十周年の記念すべき日を町民の皆様と祝うことができました。改めて、郷土発展のためにご精励くださいました町民各位をはじめ、関係各位の力強いご支援とご協力に対し深く感謝を申し上げます。また、十月には、台風十九号による豪雨により、町内においても国道が崩落するなどの被害を受け、今なお復旧に向けて全力を尽くしているところでもあります。こうした災害が頻発している昨今、町制施行六十周年の節目の年を「防災元年」と位置づけ、町民各位のご協力により、全町での防災訓練を実施いたしました。

さて、「令和」という元号には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」といった思いが込められているそうです。

令和二年を新たな出発の年と捉え、本町におきましても、町民一人ひとりが希望に満ちあふれ、活躍できるまちづくり、更には住んで良かったと実感

できる町づくりを目指して、最重要課題である人口減少対策を念頭におき、成長する町から成熟した町へ向けて全力で取り組んでまいります。

第一は、「自然と共生するまちづくり」であります。ユネスコエコパーク行動計画の中間見直し結果に基づき取り組んでまいります。そのために、自然環境や伝統文化を保護しながら、活きる森の再生化等、地域資源を持続可能な形で利活用し、引き続き町内外への理念の普及とともに、さらなるブランド向上に結び付け、世界に誇れるユネスコエコパークの町を目指します。

第二は、「文化に根づく人づくりと学び続けるまちづくり」であります。少子化が進む中、将来の只見町を担う児童、生徒の教育は重要課題であります。地域特性を活かした学びや持続可能な地域の担い手を育む教育、小・中学校から高校が連携した学力向上対策、学習環境整備の充実に努めてまいります。さらに、民具収蔵庫の整備を進め、地域文化の振興及び継承を図り、生涯学習を通じて地域を担う人材の育成に努めてまいります。

第三は、「住民が主役のまちづくり」であります。町づくりには、住民各位の積極的な参画が必要不可欠であります。人口減少による地域の活力低下が進む中、より一層の住民の安全・安心確保が求められております。地域づくりを担う各振興センターの連携を深めるとともに、地域コミュニティの支援に努め、町民の自発性・主体性を尊重しながら地域課題の解決を図ってまいります。

第四は、「住みやすいまちづくり」の推進であります。地域の実情にあった福祉施策の充実を図り、多くの皆様から住み慣れた地域で生活され、いつまでも健康で町づくりに参加をいただくことが重要と考えます。引き続き、保健・福祉・医療の連携を図り、健康で生きがいのある高齢者施策、そして、地域全体での子育て支援の体制づくりを推進してまいります。また、朝日診療所につきましては、医療体制の維持を図るべく、引き続き看護スタッフの確保に努力してまいります。

第五は、「働きがいのあるまちづくり」であります。J R只見線の全線再開通に向け、只見線を核とした広域連携による交流人口拡大、さらに国道二八九号八十里越開通を視野に入れた道の駅整備など、新たな時代に向けた町づくりを目指して、観光誘客施策、インパウンドの拡大、伝統工芸の産業化などによる地域振興に取り組みます。また、農業生産法人などの担い手育成に努めるとともに、米、夏秋トマト、花卉栽培などの振興とあわせ、只見産米ブランド化、地産地消を推進してまいります。また、ほ場整備事業、中山間整備事業の円滑な進捗に努めてまいります。

以上申し上げました施策の実現に向け、地域を支え町の未来を担う人づくり、人材確保に全力で取り組んでまいります。結びに本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

新年の

新しい時代の 幕開けに備えて

只見町議会議長 齋藤 邦夫



明けましておめでとうございます。
只見町議会を代表して、謹んで新年
のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、輝かしい新春をお
迎えることとお慶び申し上げます。ま
た、日頃、議会活動に深いご理解とご
指導を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は、国の元号が「平成」
から「令和」に改元され、新しい時代
の幕開けとなりました。

国際情勢は、米中貿易摩擦に始まり、
香港の反政府デモ、英国のEU離脱問
題、北朝鮮の非核化、日韓関係の悪化
などの混迷が続きました。また、異常
気象によりアマゾンの大火災や南アジ
ア地域の大洪水では多くの尊い命が犠
牲となり、地球温暖化が懸念される中、
年末にはCOP25が開催され各国の対

応が注目されました。スウェーデンの
十六歳の少女グレタさんの「大人たち
は子供の未来を奪うな」若者の叫びは、
全世界に大きな波紋を呼んでおります。
一方、国内では、九州地方の記録的な
豪雨災害、更に台風十九号では十二都
県に大きな災害を与え、県内でも河川
の氾濫で甚大な被害を受けました。

さて、公職選挙法の改正により選挙
権が十八歳に引き下げられ、改元後、
初の参議院議員選挙は、若い世代の政
治意識が注目されましたが、若者の投
票率は低く政治離れが懸念されます。
また、国は社会保障の財源確保のため、

消費税率を10%に引き上げ、その財源
を基に幼児教育・保育を無償化する「改
正子ども・子育て支援法」を成立させ
ました。

本町の経済活動は、台風や高温障害
により基幹産業である農業は、稲作、
トマト、花卉等、作柄は平年作を若干
下回りました。商工観光部門では観光
客や購買力の伸び悩みで経営不安を抱
える一方、誘致企業は順調に推移しま
した。また、高齢化が進む末端集落で
は、日常生活品の購入やコミュニティ
活動にも支障を来し、新たな視点で対
策が求められます。主な公共事業は、
防災無線のデジタル化、シルバー人材
センターの設置、民具収蔵庫の建設が
進められています。

議会は、当面する緊急課題に対処す
るため、二つの特別委員会を設置し、
①国保朝日診療所の厳しい現状を踏ま
え、医療環境の改善とスタッフの確
保等、長期展望に立ち「町民の命の
砦」として充実。

②八十里越開通に伴い大量の観光客の
誘客センターとして「交流拠点施設
の経営改善と施設拡充」など、
専門機関の指導を受けて提言を取りま
とめ、町当局に速やかな対応を求めて
います。また、只見町総合戦略をしっ
かり検証し、第二期計画では、未来を
担う人材育成と確保、特に若者の活躍
できる環境づくりと世界に誇る只見ユ

ネスコエコパーク推進のための行動計
画に期待したいと思います。

待望のJR只見線復旧工事は、令和
三年完成を目標に進められ、国道二八
九号八十里越道路の開通後は、約五十
万台に及ぶ交通量が見込まれ、本町経
済と町民生活に多大な影響を与えます。
単なる通過地点にしない為、観光客誘
客施設や観光の町に相応しい駅前整備
等、只見町の新しい時代の幕開けに備
えて「環境づくり」に努めてまいります。

今年、東日本大震災からの復興を
銘打って東京オリンピックが開催され
ますが、三月に議会議員選挙、十一月
には町長選挙が行われます。町民皆様
の積極的な参画をいただき、町政の更
なる前進を図りたいと思います。

只見町議会は、二元代表制の下、通
年議会制度をフルに生かし、提案する
議会に努め、山積する町政課題に取り
組んでまいります。そして、議会と当
局は、互いに切磋琢磨しながら町民の
意思を尊重し、只見町の発展のために
全力を尽くしてまいりますので、尚、
一層のご指導とご支援をお願い申し上
げます。

結びに、本年が皆様方にとりまして
実りある飛躍の年となりますよう心か
ら祈念申し上げまして新年の挨拶とい
たします。



「民生児童委員」の一斉改選

— 12月より新体制で活動 —

12月、町民生児童委員の一斉改選が行われ、新体制を迎えた「民生児童委員」32名と「主任児童委員」2名に委嘱状が交付されました。6日に朝日振興センターで行われた委嘱状交付式では、厚生労働大臣・福島県知事からの委嘱状をそれぞれ菅家町長が伝達し、その後に開催された総会で会長に目黒良平さん、副会長に目黒ハナエさんと堀金太一さんが選出されました。

委員の皆さんにはこれから3年間、「地域福祉活動の担い手」として地域のために活動していただくこととなります。

民生委員・児童委員とは？

民生委員は、住民の立場に立って相談を受け、皆さんの悩みを解決するお手伝いをする人たちです。児童委員は、子どもたちが安心して生活できるよう見守り、子育ての不安や妊娠中の悩みなどに対し相談、支援を行います。

※民生委員は児童委員を兼ねているため、「民生児童委員」と呼ばれます。

主任児童委員とは？

児童委員の中でもより専門的に下記事項などに取り組む委員です。

- ①子どもの福祉に関する機関との連絡調整
- ②児童委員の活動に対する援助や協力
- ③児童委員とともに乳幼児を持つ親の子育てに関する活動や児童福祉に関する活動

民生委員・児童委員の7つのはたらき

- 1. **社会調査（アンテナ的な役割）**
住民の実態や福祉ニーズを把握する。
- 2. **相談（世話役的な役割）**
住民が抱える問題に対し、親身に相談に乗る。
- 3. **情報提供（告知板的な役割）**
福祉サービス等の内容や情報を提供する。
- 4. **連絡通報（パイプ的な役割）**
関係機関への連絡等により必要な対応を促す。
- 5. **調整（潤滑油的な役割）**
適切な福祉サービスの提供が図られるよう支援する。
- 6. **生活支援（支援的な役割）**
生活支援活動を自ら行い、支援体制をつくる。
- 7. **意見具申（代弁者的な役割）**
問題や改善策を取りまとめ、関係機関に意見を提起する。

民生児童委員の皆さんは、月に1度の定例会を開催して情報共有などを図っている他、多くの方々に十分な福祉サービスを提供できるよう、各委員が積極的に研修会や勉強会に参加しています。

子育てや介護、教育、お金に関してなど些細なことでも構いません。ぜひお近くの民生児童委員までお気軽にご相談ください。（※秘密は厳守されます）

▶ かるがもクラブで活動する民生児童委員の皆さん



新体制となった 「民生児童委員」「主任児童委員」の皆さん

民生児童委員

会長



目黒 良平さん
担当/塩ノ岐

副会長



目黒 八千代さん
担当/宮淵・上町



堀金 太一さん
担当/上福井



山内 久美子さん
担当/原

〔只見地区〕



目黒 より子さん
担当/田中



菅家 トヨ子さん
担当/只見沖



酒井 洋子さん
担当/新屋敷



藤田 希恵子さん
担当/新町



三瓶 只子さん
担当/叶津・入叶津・八木沢



五十嵐 アキ子さん
担当/居平・久保



三瓶 キクエさん
担当/宮原・寄岩



五十嵐 由美さん
担当/塩沢・十島



渡部 和子さん
担当/館ノ川・黒沢



五十嵐 晶子さん
担当/黒谷入



吉津 有子さん
担当/沖・根木沢



本名 ムツさん
担当/蓮ノ原



菅家 のり子さん
担当/黒谷町



酒井 万里子さん
担当/下福井



山崎 行弘さん
担当/櫛戸



目黒 真弓さん
担当/小川下・荒井原



増田 節子さん
担当/小川上



齋藤 修一さん
担当/熊倉・亀岡・深沢



赤塚 房子さん
担当/長浜・荒島



平山 久美子さん
担当/小林上



五十嵐 スミ子さん
担当/小林下



馬場 祐三さん
担当/梁取



星 紀枝さん
担当/二軒在家



佐藤 則子さん
担当/大倉上



角田 利枝子さん
担当/大倉下



目黒 吉久さん
担当/坂田



梁取 美鈴さん
担当/布沢上



荒井 安行さん
担当/布沢下

主任児童委員



吉津 和子さん
担当/全域



矢沢 千代さん
担当/全域

今年の大雪像はオリンピックイヤーを迎えた東京駅！

「第48回 只見ふるさとの雪まつり」

を開催します！

開催日 / **2月8日** 土 ~ **9日** 日
10時~20時30分

前夜祭 / **2月7日** 金 19時~20時

会場 / **JR只見駅前広場**

問い合わせ先

只見ふるさとの雪まつり実行委員会
(事務局：観光商工課内)
電話 0241-82-5240
HP <https://tadamisnowfes.com/>
「只見 雪まつり」で検索

大雪像

2020東京オリンピックまであと少し！
東京駅（丸の内駅舎）



オリンピックイヤーを迎えた今年は、大雪像に東京駅を制作します。大正3年に開業した東京駅は、昭和20年の東京大空襲により大半部分が失われましたが、修復作業後、平成19～24年に東京駅丸の内駅舎の保存・復原工事が行われ、赤レンガが美しい現在の形となりました。日本の首都「東京」を象徴する建物の1つです。

2月7日～9日の3日間に渡り、『第56回輝く！日本レコード大賞』で新人賞を受賞した「徳永ゆうき」など歌手の皆さんによるライブステージや、『パンケーキ食いたい』のフレーズで大人気の「夢屋まさる」をはじめとした「お笑い芸人！爆笑ライブ」等、様々なイベントが開催されます。

イベント

7日	8日	9日
<ul style="list-style-type: none"> ●大雪像ライトアップ ●「宏菜」ライブ ●あっけらかんマジックショー 	<ul style="list-style-type: none"> ●「徳永ゆうき」「津吹みゆ」ライブ ●祈願花火大会 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●仮面ライダーゼロワンショー ●「GABEZ」ステージ ●「大竹涼華」ライブ ●お笑い芸人！爆笑ライブ ●祈願花火大会 など



徳永ゆうき

**お笑い芸人！
爆笑ライブ
出演芸人**



▲夢屋まさる



▲べこば



▲ガリベンズ矢野



▲ペンギンズ

* 雪むすめを紹介します!! *

今回の「雪むすめ」が決定し、12月3日に菅家町長から委嘱状が交付されました。雪まつりを盛り上げてくれるお2人をどうぞよろしくお祈りします。



むかいやま ゆうか
向山 侑佳 さん

職場：朝日小学校
出身：会津若松市

雪むすめという大役に就かせていただいて光栄です。雪まつりを盛り上げられるよう精一杯頑張ります。



さとう あおい
佐藤 葵 さん

職場：朝日小学校
出身：下郷町

こうした形で只見の一大イベントに参加できて嬉しいです。多くの方に只見の魅力を伝えたいと思います。



**ユネスコスクール海外交流
只見小児童が
オークランドの子どもたちと交流**



▲テレビ電話を通じ、オークランド側の説明を聞く児童たち

11月29日、只見小学校の6年生児童がオークランド（ニュージーランド）日本語補習学校の子どもたちとテレビ電話を活用した学習交流授業を行いました。

授業では「海外での取組を受けて提案を見直そう」というテーマのもと、只見小児童がオークランドの子どもたちに向けて「只見に人を呼び込むために何をすべきか」に関する発表を行いました。発表を聞いたオークランド側からは、地元の観光名所や料理に加え、「地域おこしの成功事例」「若者の動向」などについての紹介があり、児童たちに様々な「気づき」が生まれた授業となりました。

**日産財団の理科教育助成
只見中2年生の理科の授業を公開**



▲ウニの受精を観察する生徒たち

12月5日、日産財団より教育助成を受けている只見中学校で理科の授業が公開され、日産財団の方や町内の教育関係者が参観しました。これは、子どもたちの科学的思考を伸ばすことなどを目的に、日産財団が小中学校等の理科教育に資金援助をするもので、只見中学校は昨年度より助成を受けています。

今回は、同助成により導入したタブレット端末を活用し、無脊椎動物ウニの受精を観察・撮影する授業が行われました。生徒たちは、撮影のタイミングに苦戦しながらも生命誕生の瞬間を見ようと熱心に授業に取り組んでいました。

**第七次只見町振興計画 専門部会
今年度第二回目の評価検証会議**



▲出席した専門部員の皆さん

12月6日、「第七次只見町振興計画」（4年目）の評価検証会議が朝日振興センターで開催され、様々な業種からなる専門部員の皆さんが出席しました。同会では、8月に各事業について評価を実施しており、今回はその評価の得点化と満足度や重要度に応じた分類が行われました。また、10月に実施された町民アンケートの暫定結果報告も併せて行われました。

今回の結果を受け、今後は町担当課で各事業の見直しや更なる検証、新たな取組の導入などに着手する予定です。なお、町民アンケートと評価検証の結果は広報だだみ2月号でお知らせします。

**普段の生活から対策を
脳卒中重症化予防講演会を開催**



▲脳卒中について解説する若山先生（会場：季の郷湯ら里）

12月15日、朝日診療所所長の若山隆先生を講師に、寝たきりや要介護状態の原因の第一位である「脳卒中」をテーマとした同講演会が行われ、約60人が参加しました。講演では、脳卒中の仕組みや症状、予防方法などが解説され、突然発症する血管の病気であることから、予防のために普段の食事・運動などに気を配り、血管を若く保つ「血管に優しい生活」が重要というお話がありました。

その後、医師の森冬人先生より、診療所の新理念や現在の検査・診療内容、また、身近なかかりつけ医としての活動内容などが紹介されました。

レストランが先行して営業
只見スキー場でオープン式

12月20日、只見スキー場のオープン式が現地で行われ、関係者が出席しました。スキー場自体は、翌日(21日)からオープンしましたが、雪不足のため、リフト営業は十分な積雪量が確認できてからとなります。

※ロッジ内のレストラン「やまびこ」は16日から営業を開始しています。式では、施設を運営する会津ただみ振興公社の渡部理一代表取締役より「利用客一人一人に丁寧なサービスを提供し、事故などに気を付けて運営をしていきたい」とあいさつがあった後、齋藤邦夫町議会議長の音頭で乾杯が行われ、最後にテープカットでスキー場のオープンを祝いました。



▲出席者によるテープカット

只見の更なる魅力発信に向けて
ガイド組織設立発起人会議

12月23日、第一回目となる「只見町ガイド組織設立発起人会議」が役場で行われ、ガイド経験者を中心に11人が参加しました。町では、これまで「只見町公認自然ガイド」制度によりガイドの育成を重点的に実施してきましたが、次のステップとして「スムーズに地域を案内する仕組みの構築」が必要とされており、ガイド組織の設立を協議しています。会議では、角田朋之さん(小林)が代表発起人として確認された後、進め方などの議論が行われました。今後、実際にガイド業務を行う会員募集などを行い、3月下旬に設立総会を開催する予定です。



▲会議の冒頭であいさつする菅家町長

只見町地域人材育成ダイヤモンド事業
成果報告会を開催

12月23日、「只見町地域人材育成ダイヤモンド事業」(主催…町教育委員会)の成果報告会が只見振興センターで行われ、町職員や町民の方々など約30人が参加しました。同事業は、只見町を様々な分野でけん引するリーダーの養成を目的に行われているもので、平成22年度から10年に渡り、実施されてきました。これまで「6次産業化」や「民具の活用」、「福祉」、「アウトドア」など幅広いテーマで人材育成が図られており、10年間で延べ103人の皆さんが修了生となっています。



▲パネリストとして参加した修了・受講生と関係者の皆さん



▲修了・受講生によるパネルディスカッション
(コーディネーター：渡部教育長)

成果報告会では、同事業の経過報告があった後、これまでの修了・受講生から7名の方々をパネリストに、『只見町の未来を考える』をテーマとしてパネルディスカッションが行われました。同事業により「印象に残ったこと」「現在の活動に生かされていること」、そして「これからの人材育成に期待すること」を議題に各パネリストがそれぞれの体験や成果、想いなどについて紹介しました。今回、実際に同事業を活用した皆さんからいただいた報告・意見を参考に、町として今後の地域人材育成事業の内容や方法などに関する検討を進めていく予定です。

全国から教育関係者が参加

ESD (海洋教育) の公開授業研究会を開催

11月22日、町内小中学校のESD(海洋教育)公開授業研究会が開催され、町内はもとより、全国から計63人の教育関係者が参加しました(会場:明和小学校)。これはユネスコスクールである町内の小中学校が「只見と海のつながり」を意識した海洋教育の取組を公開するもので、昨年度は只見小学校と季の郷湯ら里で開催されています。

当日は、明和小4・6年生の授業が公開され、児童たちがこれまで学んだことを共有し、真剣に話し合う姿が印象的でした。その後、各小中学校が研究成果を報告し合い、海洋教育を通じた広く大きな視点から故郷「只見愛」を深めました。



▲6年生の公開授業

ESD……持続可能な開発のための教育、持続可能な社会づくりの担い手を育成する教育活動

“福祉”について考える機会に

「社会福祉の集い」が開かれる



▲感謝状を受け取る五十嵐さん

11月24日、季の郷湯ら里で「第2回只見町社会福祉の集い」(主催:町社会福祉協議会)が開かれ、民生児童委員や地域づくりサロン関係者、他町の社会福祉協議会職員など約80人が参加しました。

当日は、長年に渡って社会福祉の増進に寄与したとして、前只見町赤十字奉仕団委員長の五十嵐聰江さん(只見)に感謝状が贈呈されました。また、竹田綜合病院皮膚科科長の岸本和裕先生による特別講演が行われ、仕事と「人間学」をリンクさせる「ほんまもん」の医療について紹介がありました。

地区や業種の垣根を越えて

町の“青年”たちが交流を深める

11月30日、町が主催する「只見町青年交流会」が季の郷湯ら里で開催され、32人が参加しました。同会は、地区や業種の垣根を越えて若い世代(39歳以下)が交流を深めることを目的に開催されたもので、特別ゲストとして「只見ふるさとの雪まつり」に7年連続での出演が決定しているマジシャン芸人「あっけらかん」のお2人にも参加をいただきました。

当日は、テーブルマナー講座(和食)やマジック漫才の披露などが行われ、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



▲「あっけらかん」の2人がマジック漫才を披露

「奥会津チャレンジライフプログラム」にて 只見町での生活や仕事を体験

11月28日～12月1日の4日間、「奥会津チャレンジライフプログラム」来町1号となる高原緑子さん(都内在住)が只見町を訪れ、町内での生活を体験されました。同プログラムは、仕事体験や地域交流を通じて奥会津の魅力を発信する県事業で、昨年の11月から今年の3月まで実施されます。

高原さんは、移住体験ゲストハウス「ORAHO」(黒谷)を拠点に、布沢集落での糶り体験や合同会社ねっかでの米焼酎仕込みの手伝いなどを行いながら、地域の皆さんと交流を深めました。

同プログラムを通じ、高原さんは「今回の体験を都内で生活する大人や子どもたちに伝え、新たな交流につなげたい」とお話ししてくださいました。



▲糶り体験を行う高原さん(中央)

サンタさんの登場に大喜び！ 「朝日クリスマス会」を開催



▲会の冒頭にはサンタクロースが登場

12月1日、毎年恒例となっている「朝日クリスマス会」(主催：朝日地区地域づくり委員会)が朝日振興センターで行われ、町内から約40人の子どもたちと保護者の皆さんが参加しました。

クリスマス会では、ALT(外国語指導助手)の皆さんなどが扮するサンタクロースが登場し、子どもたちにお菓子のプレゼントを手渡した後、映画鑑賞やビンゴ大会が行われました。サンタクロースの登場もあり、子どもたちには笑顔があふれ、今回も楽しいクリスマス会となりました。

主役は小さな子どもたち！ かるがもクラブの「クリスマス会」

12月6日、かるがもクラブの「クリスマス会」が保健福祉センターで開催され、町内から10組の親子(未就学児)が参加しました。

今回も民生児童委員の皆さんに協力をいただき、壁に貼られたクリスマスツリーにみんなで仲良く折り紙などを貼り、飾り付けを行いました。その後、サンタクロースが一人一人にプレゼントを手渡し、子どもたちは不思議そうな表情を浮かべながらも、嬉しそうにプレゼントを受け取る姿が印象的でした。



▲親子で集合写真

「ふくしまの元気！応援CM大賞2019」

高校生が只見町をPRするCMを作成

12月8日、KFB福島放送の「ふくしまの元気！応援CM大賞2019」の審査会がユラックス熱海(郡山市)で開催され、只見町を含む県内の33市町村が参加しました。この企画は、参加自治体が15秒CMを作成して自分たちのふるさとをPRするもので、本町も例年参加しています。

今年は、只見高校パソコン部がCM作成を行い、出演者も生徒や先生が務めました。CMは、大ヒット映画『君の名は。』(2016年)を参考に、短いカットでテンポよく町内の美しい風景や観光施設などを紹介する内容となっています。



▲生徒による撮影の様子(田子倉レイクビュー)



▲壇上でCM作品の紹介をする高校生と関係者(審査会会場にて)

残念ながら、審査会での入賞とはなりませんでしたが、CMを通じて町の魅力を広く発信するとともに、パソコン部にとっては企画から撮影、編集までを独自に行い、1つの作品を作り上げた非常に貴重な機会となりました。

参加市町村のCM作品は、全作品が今年の4月以降、KFB福島放送のチャンネルで放送されるほか、同社ホームページでも随時公開される予定です。皆さんぜひご覧ください。

只見町ブナセンター講座にて

「小林早乙女踊り」を紹介

12月15日、只見町ブナセンター講座「小林早乙女踊りの歴史と民俗」が只見振興センターで開催され、町内外から約30人が参加しました。

只見町の「早乙女(田植)踊り」は、新年に稲作の所作をまねて踊り、その年の豊作や家内安全を祈る行事として伝承されていますが、その原形は200年程前に会津盆地で生まれたとされます。町内では、小林・梁取・小川の各集落で現在も早乙女踊りが行われています。

当日は、「小林早乙女踊り保存会」の皆さんが踊りを実演された後、「NPO民俗芸能を継承するふくしまの会」の懸田弘訓理事長より、早乙女踊りの歴史やその意義などを紹介する講演が行われました。



▲小林早乙女踊りの歴史などを紹介した懸田理事長



▲「小林早乙女踊り保存会」の皆さんによる実演

「子供たちに夢を贈る会」などで

サンタクロースが子供たちにプレゼントと夢をお届け!

12月24日、只見青年会と仲間たちによる「子供たちに夢を贈る会」が行われました。これは、町内の青年や高校生扮するサンタクロースが事前に預かったプレゼントを各家庭に届けるというもので、今年は只見・朝日地区で8軒の依頼がありました。

子供たちは、驚きながらも嬉しそうにプレゼントを受け取り、感謝の気持ちを伝えた後、「良い子にしていたらまた来るよ」というサンタさんの言葉に目を輝かせていました。

このほか、数団体のサンタクロースの姿も見られ、クリスマスイブの只見町では多くのサンタさんが往来した1日となりました。



▲サンタさんからプレゼントを受け取る子供

文字を書くことの楽しさ・難しさを伝える 「書初め教室」を開催



▲学年毎の課題を練習した児童たち（朝日振興センター）

12月26日、朝日振興センターと明和振興センターで「書初め教室」が行われ、町内の小学1～6年生約40人が参加しました。講師は今年も目黒仁也さん、ふみ江さん夫妻が務められ、「福島県書きぞめ展」の課題である「雪明かり」や「希望の朝」などを毛筆で練習しました。また、1年生はフェルトペンで字の練習を行いました。

近年、スマートフォンなどの影響で文字を書く機会が減っていることもあり、同教室を通じ、気持ちを込めてしっかりと自分の字を書くことの大切さが伝えられました。



鈴木 悠真くん
(小川)

酒井 希乃花さん
(黒谷)

赤塚 壮志くん
(福井)

目黒 百笑さん
(館ノ川)

虫歯の
ない子



(12月24日)
3歳児検診

12月から新しい看護師さんが着任しました!

12月1日から4ヶ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の金田直也さんです。金田さんは、看護師をされているお姉さんの影響を受け、自身も看護師を志すようになったそうです。

診療所で働く期間がちょうど冬ということもあり、只見の雪を心配する反面、「どのくらい降るのだろう」という好奇心も大きいとのこと。趣味はスノーボードで、只見スキー場に滑りに行くのが楽しみだそうです。患者さんとの関わりを通じ、成長していきたいと元気に話してくれました。



金田 直也 さん
(出身/会津若松市)

広報たのみ診療所

朝日診療所
所長 わかやま たかし
若山 隆



「新年のご挨拶」

新年あけましておめでとうございます。令和がはじまって最初の年末年始をみなさんいかがお過ごしになりましたか?

年末年始はこれまでを振り返り、思いを新たにする際にとっても良い時節です。私自身、2019年の朝日診療所での医師としての仕事を振り返ると、反省する点が多いです。辛い症状を抱え、困っている患者さんに、もっと思いやりをもって対応できればよかったと悔やむことが多かったです。その背景として、看護師さんが不足していることから、入院病床が制限されてしまい提供できる医療サービスが減ってしまっていた点があります。患者さんやその家族のご要望やご期待に沿えない場面が多くなっていました。診療所に入院させてほしいという方や、もっと長く入院したいという方がいても、それは困ると言わざるを得ない。そういった期待に沿えないことの対応の積み重ねでスト

スがたまり、余裕がなくなってしまったのかもしれませんが、もちろん、どんな仕事をしていても、ストレスがないなんてことはありません。ストレスがある中で、冷静に、自分がどんな振る舞いをすべきか考え、行動することが必要です。

仕事に対してどう向きあうのか?どのように仕事をしたいか?を考えることは非常に大切だと思います。時には辛い仕事において、自分を導き、前に進める原動力となります。もしわかりにくい場合は、自分が定年退職などで仕事から離れるとき、周囲の人に自分をどのような存在だったと捉えてもらいたいのか、を考えるといいと思います。それが自分にとって価値あることであり、本当の働き方改革になると思います。私にとって、朝日診療所で働く上での願いとは、患者さんに「朝日診療所で診てもらってよかったな」と思ってもらうことであり、たとえ大変で辛くとも、そんな診療所に少しでも近づけるべく一日一日精進していきたいと思っています。

地域おこし協力隊として Vol.62

移住定住支援協力隊
いまぜき まき
今関 真貴



「只見暮らし」

6月に千葉からやって来てちょうど半年が経ちました。生活をしていく中で、只見には“町や区の行事”がいろいろあるな、と感じています。まず普請、回覧板に「集合5時」と書かれていてびっくり(朝が早い!）、夏の道路愛護奉仕作業では自分たちが使っている道路を自分たちで掃除、きれいになった道を見た時はとても清々しい気持ちになりました。秋の堀払いでは小堀の中を長靴でじゃぶじゃぶ歩いて泥上げ、みんなで自分達が埋まるほど深い大堀にも入りました。川原の草刈りも、道路も、堀も、いつも知らぬ間に誰かがキレ

イにしてくれていたり、ともすると荒れているとさえ感じることなく生活していたのだということに気がつきました。広い範囲もみんなで作業をするとあっという間にキレイになっていくことへの達成感と、日頃の運動不足でなまった体を動かすことの心地良さ、作業が終わった後のおしゃべりも楽しみのひとつ。作業の他にも、お神輿、おまつり、盆おどり、運動会、文化祭、クリスマス会など、みなさんに温かくお声掛けいただき楽しい只見暮らしを送っています。そして、いよいよ初めての只見の冬、余裕をもって準備を進めながら過ごしていきたいと思っています。

町史

とっておきの話

306

早稲田大学非常勤講師

ひさの
久野 俊彦
としひこ

『書物の郷』只見町での書物調査フィールドワーク④

― 医師・原田了玄の書物から見る医師修業と武士批判の精神 ―

黒谷家の医家・

原田家の医師修業

原田家(原田拓夫家)の初代原田重長(一六一四～一六八七)が会津若松から黒谷村に入り、二代玄貞(一六五〇～一七三三)から医師となりました。三代幽玄(一六九〇～一七七九)と四代了玄(一七二〇～一七九七)は、会津地方を遍歴した僧医の如活(一六六六?～一七四一)の門弟でした。また、了玄は越後国長岡藩の藩医である橋本幸庵のもとで、高度な医師修業をしました。江戸時代の医師修業は、手習いを修得した後、①近隣の町や村の医師の弟子となつて医学の初歩を学ぶ、②その後、より高度な技術を習うために近くの都市の医学塾で鍛錬する、③さらに、江戸・京都・大坂・長崎の先進地へ遊学して修学する、という医師修業の三つの型がありました。三代幽玄は①型の医師で、四代了玄は②型の医師でした。

了玄の門弟である下山村(南会津町)の馬場順平は、京都の有名な医師である中西深斎(一七二四～一八〇三)の門人となつた③型の医師でした。

幽玄・了玄が学んだ医学は、中世から近世中期まで主流であった金元医学(後世方派医学)です。金元医学は医学・経絡(鍼灸のツボ)・運氣論・陰陽五行説・儒学・易学・占術を学びました。馬場順平が京都で学んだ古方派医学は、近世中期に起こった当時最先端の論理的医学でした。



「十四経備考」(鍼灸のツボ) 一七四六年 原田了玄写

了玄の豊かな学識

了玄は寛保二年(一七四二)から寛政四年(一七九二)の間に、三十四点の医学書や詩文等を書写しています。弟子は師から医学を学んで伝授を受け、秘伝の書物の書写を許されて書物が伝授されました。長岡藩医の橋本幸庵が了玄に伝授して、了玄が書写した写本があります。橋本幸庵は江戸に遊学して、儒学者藤原惺窩の門流である山岡雲南に学びました。了玄は藤原惺窩の門弟である林羅山の易書を橋本幸庵から伝授されています。

了玄の学識は儒学・易学に加えて神道にも及んでいました。『神皇正統記 只見本』が原田家に伝来していたのは、了玄が瀧泉寺から借りて読んでいたからだと考えられます。

山野の文人・了玄の

「八景」づくり

了玄は登山を好み漢詩を詠む

山野の文人でした。松山村(昭和村)の文人絵師である佐々木松夕(一七二二～一八一七)と親交がありました。了玄の漢詩の題材は、現在の昭和村・金山町・只見町・南会津町に及んで、「野尻組八景」「沼沢八勝」「大石八景」「唱崎八景」「蛇宮十二景」を詠んでいます。「八景」とは中国の「瀟湘八景」になぞらえて、ある地域で八つの景勝を見出し、ていくことです。了玄は奥会津を旅して山に登り、八景として示して新たな名所を発見していました。

武士批判をする了玄の

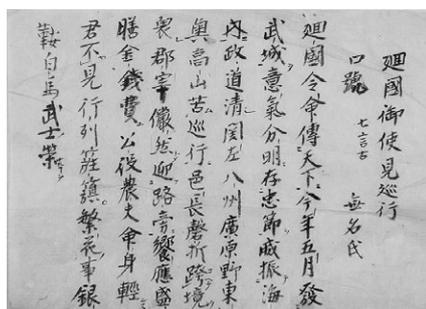
自由な精神

了玄の漢詩は、天明八年(一七八八)の幕府廻国巡見使への批判にも及んでいます。無名氏の口号(叫び)と書かれた了玄作と考えられる七言古詩「廻国御使見巡行」を口語訳で紹介します。

「巡見使が江戸から来て、天下に威勢を示し、村人と代官は畏まって迎えた。村人は豪華な饗応を負担させられ銭は費えた。労役にかりだされた村人の身や生活は軽んじられた。村人はみな見たよ、幕府の旗を立てた華美な大勢の巡見使、威厳を見せ

つける銀の鞍の白馬に乗る武士の栄えが、無法な奢りであることを。」

巡見使に随行した古川古松軒の『東遊雜記』によると、総勢百十八人の巡見使は五月六日に江戸を出発し、下野国から会津若松・田島(南会津町)・古町(南会津町)を経て、十九日に布沢(只見町)、二十日に野尻(昭和村)に止宿しました。六十八歳の了玄は村人の一人として憤り、この詩をひそかに作成していました。江戸時代の村人は、武士に支配されていたとはいえ、心まで支配されていたわけでは無いのです。豊かな学識と自由な精神を持った村人が、只見にはいました。



▲「廻国御使見巡行」(1788年 原田了玄作)

町民文芸



只見短歌会

十一月詠草

大塚栄一

指導

藁塚の如く刈田に群るる猿嫌われ居るもしぐさ愛らし

目黒 富子

音信も絶へて久しき友よりの便りは息子逝きてと言ふに

馬場 八智

秋遅き紅葉のなか初雪の降りし山並彩りの冴ゆ

新国由紀子

日は照るも雪の予報に風寒く大根摘む人畑に賑はふ

渡部ゆき子

看護師の患者呼び出す声耳にわれ待合に歌集読みをり

関谷登美子

日めくりも捲らず忙しき日々の過ぎ手帳の中も空欄多し

渡部ヨリ子

リハビリの為に歩けと今日も言ふ娘に促され押し車押す

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

十二月定例会

目黒十一

指導

池のこいおよぐ背緒に秋深し
声かけて声かけられて刈田道

都

爽やかや経読む声は紫衣の僧
見上ぐれば戸を閉めかねる夕月夜

味代子

声かけて囲いためらう返り花
早く見ると友の電話や冬夕やけ

弘子

干し柿の暖簾も宿の風情かな
冬ぬくし術後の夫と向い居て

一恵

かもしかとよく遇う峯の松迎え
其其の友の計いくつ十二月

恒夫

秋深し内耳にぎわういとまかな
折れやすき葱の長さを囲いけり

礼

語ることも多く残して雪に入る
食い初めは新米飯と定めけり

一穂

焦るとも一つづつなり冬支度
ストーブも定位置に付け着火かな

修一

白雪の尾根キラキラと初明り
初湯殿百寿のふぐり伸ばしけり

吉児

芋巻岳に雲巻くさまも師走かな
挨拶も短かき友や雪催い

幸生

枯れ葉舞う学生街に待ち人あり
サクサクと枯れ葉踏みしめ急ぐ人

信

今月のお知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

税 今月の納期

- 1月27日までに納めましょう
- 町民税(4期)
 - 固定資産税(4期)
 - 農集排使用料(1月分)
 - 後期高齢者保険料(6期)

募集

令和2年度 只見町奨学生を募集します

町では、優秀な人材を育成するため、無利子で奨学資金を貸与します。

●奨学資金の対象

▽令和2年度に高等学校・短期大学・大学又は専門学校などに進学を希望される方で、品行が正しく、学術に優れ、身体強健であること。

●奨学資金貸与の条件

▽只見町出身の方で、貸与を希望される方の本籍又は住所が只見町に引き続き6ヶ月以上有すること。

▽経済的理由により修学が困難と認められること。

●利用可能額(貸与額)

▽高等学校／月額1万2千円以内
▽私立大学／月額4万円以内
▽国公立大学／月額3万円以内

▽短期大学／月額3万円以内
▽専門学校等(修業年限2年以上)／月額3万円以内

※支度金(4年制大学に限る) 大学入学時／30万円以内

●返還 8年以内で返還

(詳しくはお問合せ下さい)

●申込方法

募集要項は教育委員会、朝日・明和振興センター、只見中学校、只見・南会津高校、町内各郵便局、東邦銀行只見支店、JA会津よつば只見支店に設置してあります。必要書類を添えて教育委員会へ申請して下さい。

●募集期限

2月17日(月)まで

●奨学生の採用決定

審査決定後、本人に通知します。通知は3月中旬の予定です。通知は3月中旬の予定です。

●問合せ先

只見町教育委員会
☎0241-821-5320

保健師などを狙う 奨学生を募集します

次の職種を目指す方で、将来町の施設に従事しようとする方に対し、奨学資金を貸与します。

●対象となる職種

保健師、助産師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士

●対象となる条件

養成施設に在学または在所属し、国または他の団体から同種類の奨学金の貸与を受けていない方。

●貸与額

月額10万円以内

●奨学金の返還及び免除規定

奨学資金貸与条例により原則10年以内に返還(免除規定あり)。詳しくはお問合せ下さい)

●申込手続

申請書に必要な書類を添えて保健福祉課に提出してください。申請書などは只見・南会

津高校に送付しているほか、ご連絡いただいた方にも直接送付します。なお、進学予定の方も受け付けます。

●募集期間

2月14日(金)まで

●問合せ先

保健福祉課 保健係
☎0241-841-7005

お知らせ

法務局公開講座 開催のお知らせ

福島地方法務局では、公開講座を開催します。

近時、相続した不動産について相続登記がされていないケースが数多く存在していることが報道されるなど、相続登記が社会的な関心を集めています。

相続登記が放置されているため、いわゆる所有者不明土地問題が顕在化しており、相続登記の未了は適切な管理がされていない空き家が増加している大きな要因の一つであるとの指摘もされています。相続について理解を深めるため、ぜひご参加ください。

●日時

令和2年1月28日(火)
午後1時～午後3時

●場所

福島地方法務局若松支局
3階会議室
(会津若松市追手町6-11
会津若松合同庁舎)

●内容

「相続と遺言」
公証人 山口和秀

●その他

予約が必要です(先着24名)。

●予約・問合せ先

福島地方法務局若松支局 総務課
☎0242-271-1498
FAX 0242-271-1452

令和元年分所得税等確定申告のお知らせ

●確定申告書は、国税庁HPで作成できます

国税庁のホームページ「確定申告書等作成コーナー」で所得税や消費税の申告書などを作成することができます。

※マイナンバーカードとICカードリーダーまたはマイナンバーカード対応のスマートフォンを用意すれば、「e-Tax(電子申告)」を利用して提出できます。

※事前に税務署で手続きいただければ、マイナンバーカードとICカードリーダーをお持ちでない方もe-Taxをご利用できます。

※印刷して郵送などによる提出も可能。

●税金の納付は振替納税が便利です

●申告所得税及び復興特別所得税、贈与税の納期限は3月16日(月)です。

●消費税及び地方消費税(個人事業者)の納期限は3月31日(火)です。

●振替納税をご利用の方は、申告所得及び復興特別所得税の振替日が4月21日(火)、消費税及び地方消費税(個人事業者)の振替日が4月23日(木)です。

●申告書作成会場について

●場所 田島税務署1階会議室

●期間 2月17日(月)～3月16日(月)

※土、日、祝日等を除く

●時間 午前9時～午後5時

(受付時間は午後4時まで)

※期間前は会場を設置しておりません。

※混雑する場合は、早めに受付を終了することもありますのでご了承願います。

●マイナンバーの記載などについて

確定申告書を提出する際は、「毎回マイナンバー(12桁)の記載」と「本人確認書類の提示又は写しの添付」が必要です。

【本人確認書類の例】

- 例1 マイナンバーカード
- 例2 通知カード+運転免許書など

●配偶者控除及び配偶者特別控除の変更

平成30年分の確定申告から配偶者控除及び配偶者特別控除が、配偶者の合計所得金額のほか、申告される方ご本人の所得金額に同じで適用されるとともに、控除額が変更されました。

●医療費控除は領収書の提出が不要です

領収書の提出の代わりに「医療費控除の明細書」の添付が必要となりました。

※医療費の領収書は自宅で5年間保存する必要があります。

※平成29年～令和元年分までの確定申告については、医療費の領収書の添付又は提示によることもできます。

●問合せ先

田島税務署(※自動音声案内)
024116211230

町長スケジュール (12月分)

- | | | | |
|-----|---|-----|--|
| 2日 | 只見ふるさとの雪まつり実行委員会、議案検討庁議 | 17日 | 保護司新任あいさつ、只見町商工会要望、臨時庁議 |
| 3日 | 雪むすめ委嘱状交付式、滝調整池堆砂対策連絡協議会 | 18日 | 会津中央病院訪問(会津若松市) |
| 4日 | 南会津地方広域市町村圏組合新消防庁舎開庁式(南会津町)、医師確保のための福島県保健福祉部長要望活動 | 20日 | 只見スキー場オープン式、県立南会津病院訪問(南会津町) |
| 5日 | 一般質問検討庁議 | 23日 | 地域人材育成ダイヤモンド事業成果報告会、只見町ガイド組織設立発起人会議、只見地区ほ場整備事業推進委員会 |
| 6日 | 民生児童委員委嘱状交付式、(株)季の郷湯らり取締役会 | 24日 | (福)南会津会理事會、南会津地方広域市町村圏組合管理者会(南会津町) |
| 7日 | 新宿日本語学校奥会津体験ツアー歓迎 | 25日 | 只見町議会全員協議会 |
| 10日 | 只見町議会12月会議(～13日)、ティーエヌアイ工業(株)社長来庁 | 26日 | 只見ユネスコエコパーク連絡調整会議、只見川電源流域振興協議会臨時会議(三島町)、只見町民生児童委員協議会 |
| | | 27日 | 仕事納めの式 |

町民の消息

(1月26日～1月25日届出分)敬称略

■ご結婚おめでとうございます

布 沢 小林 克弥 ♡ 渡部 彩 会津若松市

■おくやみ申し上げます

三 瓶 スエ子	88	長 浜
三 瓶 秀 夫	73	深 沢
五十嵐 恵 子	90	八木沢
三 瓶 恭 子	89	大 倉
飯 塚 計 悟	85	大 倉
吉 津 ノブ子	91	杉 沢
馬 場 清 光	87	長 浜
渡 部 ウメ子	98	舘ノ川
五十嵐 邦 夫	99	長 浜
渡 部 俣	80	福 井

・お詫びと訂正

令和元年12月号21ページに、「星 ナミ子」さんの住所を「長浜」と記載しましたが、正しくは「梁取」でした。お詫びして訂正いたします。

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和元年12月1日現在

人 口	4,164 (-11)
男	2,041 (-4)
女	2,123 (-7)
世帯数	1,775 (-3)
高齢化率	46.4%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 4 転出 5 出生 0 死亡 10

▽明けましておめでとうございます。本年も「広報ただみ」をどうぞよろしくお願ひいたします。
▽今年56年ぶりに日本で夏季オリンピックが開催される年です。早速、3月下旬から福島県をスタートして全国を回る聖火リレーが始まります。
▽町内でも、雪まつりの大雪像は東京駅を制作することが決定しました。雪まつりはもちろん、オリンピックに関連してここ只見町に来られる方々を、町民全員で温かくお迎えしたいですね。

(橋本)

あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

生涯学習サポーター
三瓶美由紀

朝日振興センター
図書室 ☎84-2111

おすすめ新着図書

★祝祭と予感

恩田 陸 / 著 (幻冬舎)



大ベストセラー『蜜蜂と遠雷』待望のスピノフ短編集！

大好きな仲間たちの、知らなかった秘密。「祝祭と掃苔」、「獅子と芍薬」、「袈裟と鞆」、「竖琴と葦笛」、「鈴蘭と階段」、「伝説と予感」の全6編です。

★スライムぴぴ

原ペコリ / 著 (スクウェア・エニックス)



『ドラゴンクエスト』シリーズでおなじみのスライムがさまざまな形に姿を変えて登場する、0・1・2歳児向けの絵本です。

乳幼児行動研究者

者によるアドバイ

スを受けながら制作したスライムの動きやカラフルな色合い、大きなキングスライムが登場するダイナミックなしかけが、赤ちゃんの心をしっかりとつかみます。

ぜひ親子いっしょに、お楽しみください！

☆朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

カワアイサ (学名: *Mergus merganser*)

【カモ目カモ科】



▲ 左がカワアイサのオス、右はカワウ



▲ カワアイサのメス

冬の只見町は雪に覆われてしまうので、森の野鳥はほとんどいなくなります。ところが、凍らない水面では、冬にしかやってこない野鳥を観察することができます。その代表がカモ類です。カモ類の多くは、夏の北国で繁殖し、越冬のために日本に渡ってくる冬鳥です。カワアイサもそのようなカモ類の1種です。世界に広く分布しており、ユーラシア大陸中北部と北アメリカ北部で繁殖し、日本でも北海道東部・北部で繁殖が確認されています。ヨーロッパ中部や中国南部、北アメリカ中部では冬鳥となっています。

カモ類というと、くちばしが平たいというイメージがありますが、カワアイサのくちばしは細長く、先が鋭いかぎ状になっています。この形態は、上の写真のカモとは別の仲間、カワウによく似ています。潜水をして水中の魚を追い捕食するという両者に共通する生態が、くちばしを良く似た構造に進化させたと考えられます。鋭いくちばしは、捕らえた魚に食い込み、逃がしません。町内では、ほかのカモ類に交じって只見ダムでも見ることができますが、只見川本流のような流れのある場所によく見かけます。採食しているとだんだん下流に流されますが、水面すれすれを飛んで上流に戻り、採食を再開します。オスは首から腹部にかけて真っ白で川に浮いている姿は一見すると雪の塊のようです。

企画展 「只見の山を眺めれば…そこにある樹木に気づく企画展」

期 間：令和2年1月25日(土)～令和2年3月30日(月)
会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

只見子ども芸術計画 「ブナの森の道具屋さん」展が開催中です！

12月16日より、「ただみ・ブナと川のミュージアム」の休憩室で「ブナの森の道具屋さん」展が開かれています。あさひ放課後子ども教室の児童たちが町内のブナ林で集めた素材を使って創作した「森の生きものが使う道具」や描いたブナの葉を使った招待状、アーティストの岩田とも子氏(芸術計画の講師)が自然素材で作った作品などが展示されています。展示見学は無料で、2月24日(月・祝)まで公開されます。その後、3月1日(日)の「朝日のいいもの集めちゃった市」でも展示される予定です。



▲ワークショップに参加した子どもたち

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています